



マスコットキャラクター
←カミン

ぶらっと 通信

春待号 (隔月発行)
2009年2月 vol.5

栄区連会承認第 113 号

頼りになるよ! その名は「おやじ」

本郷小おやじの会「いたちっ子サポーターズ」

(右端) 代表の溝田さん、(中央後) 太田さん
(中央前) 中村さん、(左端) 狩野さん



「子どもと共に活動する」ことがテーマ

— 2年前に結成しましたが、これまでに地域(矢沢堀)の川清掃や草刈り、教室のワックスがけ、運動会の警備、本郷小ふれあいフェスへの参加、AED講習会などを行いました。学校や地域の協力を得ながら親子で一緒に活動していくことが目的です。最新企画「親子で漢検」には186名もの参加希望があり、嬉しい悲鳴をあげました。メンバー各々がやりたい企画をもちよりひとつひとつ実現させていきたいと思います。親子で楽しい時間を共有した後の一杯は、たまらなく美味しいんですよ。

はじめてわかった先生の苦勞

— 運動会の前日に雨が降ったときは、当日早朝から先生方が雑巾を使って校庭の水気をとっていました。警備の活動をするまで、そんなことには全く気づきませんでした。誰も見ていない所で、朝早くから夜遅くまで子どもたちのために力を尽くしている先生方の苦勞を知り、先生方を理解し協力しようという気持ちが沸いてきました。活動を通して先生方とコミュニケーションを図り、今ではとっても良い関係ができています。

どんどん発揮したい「おやじ」の力

— 算数でつまづいている子や体育で逆上がりが苦手な子の手助けをするなど、自分たちができることで学校に協力をしていく「パパスクール」構想をもっています。また、学校や地域とのネットワーク作りも広げていきたい。仕事を定年退職して何か子どもたちのために力を発揮したいと考えている方には、ぜひ協力してほしいですね。

ぶらっと栄でつながります! 「おやじ」と地域のネットワーク

子どものことや学校のことを母親まかせにしない現代の「おやじ」。日本のおやじ像はどんどん様変わりしている。子育てにおやじの力は欠かせない。地域とのネットワーク作りも重要だ。おやじ達に協力して自分の経験や技術を地域のために役立てたいと思う方は、ぜひ「ぶらっと栄」へご相談ください。お待ちしております。 ☎045-894-9900



ぷらっと栄 ～活動のヒントや

「ぷらっと栄」の登録団体と「みんなが主役のまちづくり」助成金交付団体の中から97団体（112名）が2日間に分けて集まり、ジャンルの違う団体同士がそれぞれ抱えている課題や問題点について意見交換を行った。



課題・問題点として

- ① 人材 …メンバーの高齢化による後継者不足。PRや人材確保が難しい。少子化による人材不足。若い人を入れて活動を活性化したい。
- ② 場所 …活動場所の確保が難しい。定期的な利用や予約がしづらい。行政も考えてほしい。
- ③ 交流 …パソコンを教えて欲しい。異種・同種ジャンルと交流して学びたい。



解決案として

- ① 人材 …チラシ・ポスターの作成や配布、情報紙への記事掲載、声かけや口コミなど地道な努力、会のHPの作成。高齢化を嘆かず自然なこととして受け入れよう。
- ② 場所 …栄区の貸館施設（公共・自治会館や集会室・民間）のマップを作って、ぷらっと栄に置いたらどうか。
- ③ 交流 …パソコンで困った時はパソボラ横浜へ。他のグループと交流をしたいときにはぷらっと栄でご相談を。ぼちちりとコーディネートしますよ！



などの意見が出された。子育てグループが紙ひこうきグループとの交流を希望するなど具体的な要望もあがった。



コメンテーターとして参加した渡辺ひとみさん（ちゅーりっぷ編集部代表）は、資金の問題に触れて、「まずは自主財源の確保。会費・寄付・賛助会員やイベントの参加費徴収。さらに、行政の助成金制度や民間の補助金制度もある。民間のものについては社協で尋ねたりボランティアセンターのHPで調べることができる」と述べた。また、活動のいきづまりについては、「アンケートなどをうまく利用して会員の考えや思いを率直に聞くことが大切。長く活動を続けていると役員はだんだんと鈍感になってくる。会員やイベント参加者の声をよく聞いて、定期的に活動の検証をしながら、活性化を図って欲しい」と参加者たちにエールを送った。

交流会報告 (H20 11/29,12/5)



エネルギーを交換しよう！～



グループに分かれて話し合い



時間厳守ですよ～
司会の大森さん
(ボランティアグループ
たんぼぼ)



参加者の声

あさの会(男性料理)の井田さん



ジャンルの違う方たちと話をしましたが、みんな悩みは一緒だということがわかりました。時間が短く慌しかったですが、初めて知ったグループも沢山あり新鮮でした。団体登録をしてこのセンターを施設を利用していますが、こんな機会でもなければ他とのつながりは生まれません。今後もぜひ続けてほしいです。また一人で幾つものグループに所属している方の多いことにも驚きました。当日配布された団体プロフィール冊子は大変参考になりました。

同じグループには文化活動の方が多く、終始なごやかムードでした。それぞれが自分の会について日頃考えていることや悩みなどを発言し、共感できることが多く充実した時間を過ごせました。今まで知らなかった方々と話す時間を持てたことに幸せを感じます。個人的には以前から興味があった俳句の会の方と知り合うことができ入会することになり、嬉しい収穫となりました。

女声アカペラグループ・ソアーベの伊藤さん



またコメンテーターとして参加の内海宏さん(横浜市まちづくりコーディネーター)は他区の活動センターに比べ、ぶらっと栄が明るく広々としていることに注目し、「お互いの活動を覗ける機会をぶらっと栄で企画して欲しい。また栄区はどこでどんな活動が行われているかをひと目で確認できるマップを作ったらどうだろう。分野間や世代間のつながりができるといい。環境や福祉…などと限定して活動するだけではなく、それぞれの持ち味や技術を生かして具体的なこと(例えば紙飛行機や囲碁など)を通してつながりを広げていくのがこのセンターの役割である」と今後の期待と願いをこめた。



グループ間のコラボに期待したいという内海さん



サーチウォークとは…

決められた地域で目標の電柱を探し、制限時間内でポイントを競う競技。金江さんが発案し、平成12年栄区サーチウォーククラブ、平成20年日本サーチウォーク協会設立。
参加者は事前に配布される地図を見て、電柱の番号をヒントにその場所を推理し、ポイントを稼ぐための道筋を探る。
苦労して目標の電柱を探し当てたときの喜びと、住み慣れた町でも初めて通る道を発見できることなどが好評を得ている。



面白いですよ
ぜひ一度参加してみてください！



Q：サーチウォークを発案したきっかけは？

A：以前電柱に関係した仕事をしていて、電柱に貼られた番号のしくみとオリエンテーリングの要素をうまく結びつけ、楽しみながら歩くことができるこの競技を思いつきました。決して走ってはいけないというルールを守りながら、多くの電柱を探して、いかに早くゴールできるかを競います。脳にも健康にもいい競技なのです。



Q：活動はどんな様子ですか？

A：今まで区役所や子供会の依頼を受けたり、スポーツフェスティバルに参加してミニ大会を開催し、地域の人々にサーチウォークを知ってもらおうと努めました。最近では小学校で親子対象の大会を開催しています。ただ歩くのではなく、目的を持って早歩きをするので子どもたちも大いに盛り上がります。誰も見ていない所でもルールを守らせるというしつけの面も含めて、親子の良いコミュニケーション作りの場になっています。競技が終わった後の得点集計も参加者自身が秒単位で出すんですよ！

Q：今後の夢は？

A：サーチウォークを広く普及させ、次世代に伝えていきたい！既に栄区の全小中学校用のコースができあがっているので、今後学校に呼びかけて競技を広めていきたいと思っています。人の名前はすぐ忘れられてしまいますが、競技はルールさえ伝えれば続いていきます。親子大会に参加したお父さんたちの中から後継者が出てきてくれればいいなあ！



地図にシールを貼り作戦を練る



飯島小学校サマーキャンプにて

サーチウォークに興味のある方はぷらっと栄までご連絡ください

☎045-894-9900

HPは「日本サーチウォーク協会」で検索を



グループの皆さんへお知らせ！ ～平成21年度のグループボックス利用申込みが始まります～



グループボックスってどんなもの？

会の資料を保存したり、メンバー間の資料の受け渡しに利用できます。鍵はかかりません。大きさは2種類です。



小ボックス

小ボックス 64個 W31×D35×H20
A4の書類が入ります



大ボックス

大ボックス 12個 W42×D45×H40
A3の書類が入ります



実際、どんなふうに使っているの？

会員同士の連絡や資料の受け渡しに利用しています。特に欠席した方に資料を渡す場合、ボックスに入れておけばいつでも時間のある時に取りに来てもらえるので便利。ただ鍵がかからないので名簿など個人情報を入れられないよう気をつけています。また講座を開いた後は必ず学習記録をつけているので、それを保管してメンバーが自由に見られるようにしています。以前は他のグループからのお知らせなども入っていて楽しかったわ。そんな使い方もあっていいと思います。



鎌倉研究会・岡崎さん

平成21年度グループボックス（利用期間：4/1～翌3/31）

* 申込み受付

3月1日(日)～20日(金) ぷらっと栄(本郷台駅前横浜銀行3階)

* 利用決定抽選会

3月25日(水) 14時から

場所：ぷらっと栄 ミーティングスペース

★申込みをした会のメンバー1名は必ず出席してください！

* 問合せ

ぷらっと栄 ☎ 045-894-9900

第1回 『装束の日本史～公家装束と武家装束～』 講師 神奈川大学特任教授 近藤 好和先生

装束とは歴史的着衣のうち特に為政者とその周辺の着衣をいう。したがって、装束とは単なるファッションではなく、身分の標識である。その点を公家・武家双方の装束で考えたい。

開催日 3月3日(火) 13時30分～15時30分

第2回 『古代宮都と遷都』

講師 日本大学講師 浅野 充先生

平城京は来年(2010年)に遷都1300年を迎えます。そもそも平城京に遷都したのはなぜなのか。その平城京から長岡京・平安京へと遷都したのは何故なのか。古代宮都は何なのかを考えながらお話したいと思っています。

開催日 3月10日(火) 13時30分～15時30分



- *会場 地球市民かながわプラザホール (JR本郷台駅 徒歩3分)
- *募集人員 250名 (講座2回出席可能な方、応募者多数の場合は抽選)
- *受講料 2000円 (2講座資料代含む)
- *申込方法 往復葉書に (一人一通) 住所、氏名 (フリガナ)、性別、電話番号記入の上、下記宛に郵送下さい。
- *送り先 〒247-0008 横浜市栄区本郷台5-7-25 村上伸二
- *申込期間 2月2日(月)～20日(金) 当日消印可
- *問合せ先 村上 TEL 045-893-5711 高山 TEL 045-891-3338

生徒募集

第10期 囲碁教室(入門・初級コース、上達コース)

囲碁を覚えたい人、強くなりたい人に囲碁ボランティアが教えます!

- *各囲碁教室はカリキュラムに沿って指導されるほか、対局マナーなどについても重視しています。(24回/半期)
- *締め切り 3月15日(日)
- *受講期間 4月～9月迄
- *受講料 大人3000円、子ども1000円 (1期6ヶ月分)

コース・種別	番号・教室名	場所	募集人員
入門・初級コース (入門及び11級以下の方)	①本小日曜	市立本郷小学校	若干名
	②豊田日曜	豊田地区センター	〃
	③本中日曜	市立本郷中学校	〃
上達コース (10級以上で初段を目指す方)	④本郷水曜	本郷地区センター	10名
	⑤本郷土曜	本郷地区センター	5名
	⑥豊田水曜	豊田地区センター	10名
	⑦上郷金曜	上郷地区センター	8名

- *申込み・連絡先 栄区囲碁普及会 上達コース (植田) 携帯 080-5038-3524
TEL&Fax 045-892-6166
- 入門・初級コース (杉浦) TEL&Fax 045-894-5447

受講生募集

栄区テレビセミナー講座 「天地人～戦国乱世を、愛と義に生きた武将の生涯～」

NHK 大河ドラマをより一層楽しく見るために

回	月日	テーマ	講師
1	4月 8日(水)	大河ドラマ「天地人」～その現場から	NHK チーフ・プロデューサー 内藤慎介
2	22日(水)	直江兼続とその時代	静岡大学教授 小和田哲男
3	5月20日(水)	直江兼続とお船	作家 鈴木由紀子
4	6月10日(水)	上杉謙信・景勝と直江兼続	越後一の宮居多神社宮司 花ヶ前盛明
5	24日(水)	江戸時代、直江兼続をみる目 ～国宝『上杉家文書』の成立から	米沢市上杉博物館学芸員 阿部哲人
6	7月15日(水)	文化人としての直江兼続	東京大学大学院准教授 小島 毅

- *会場 地球市民かながわプラザホール (JR本郷台駅 下車徒歩3分)
- *開催時間 13:30～15:30 (開場12:30)
- *受講料 3000円 (全6回分) 第1回講座の時にお支払い下さい。
- *募集人員 290名 (応募者多数の時は抽選)
- *申込方法 往復はがき(1人1通)に、必ず①郵便番号②住所③氏名④フリガナ⑤電話番号を記入の上、下記宛にお送り下さい。
- *送り先 〒247-0003 横浜市栄区鍛冶ヶ谷町452-338 平岡行夫
- *申込期間 2月16日(月)～3月6日(金) 当日消印有効
- *問合せ先 平岡 TEL 045-894-3166 福田 TEL 045-894-9581



栄区生涯学習の集い

講演

ノンフィクション作家 柳田 邦男

『ケータイ・ネット社会と子どもの心』

～絵本から学ぶ大人のあり方～



1995(平成7)年『犠牲ーわが息子・脳死の11日ー』とノンフィクション・ジャンルの確立への貢献に対し菊池寛賞、2005年『エリカ 奇跡のいのち』で日本絵本賞翻訳絵本賞受賞。災害・事故・公害問題や、生と死、言葉と心の危機、子どもの人格形成とメディア等の問題について積極的に発言している。主な近著に『壊れる日本人ーケータイ・ネット依存症への告別』『大人が絵本に涙する時』『砂漠でみつけた一冊の絵本』等がある。

日時 平成21年3月4日(水) 13時00分～16時00分(12時30分開場)

会場 栄公会堂

演劇上演

劇団 ジーバジーバ

『すもうにかつたびんぼうがみ～はっけよい！シニア演劇』

同時開催

活動紹介

栄区生涯学級 さかえ自主学习連絡会(アクティブ栄)による活動紹介

講演への参加申込み

定員 600人(定員次第締切/参加不可の場合のみ連絡。連絡がなければ当日直接会場へ)

申込み ハガキ(1枚に2人まで)に参加者全員の氏名(ふりがな)・住所・電話番号を書いて下記へ。

Eメールの場合は、件名に「生涯学習の集い申込み」と記入。2月20日(金)消印有効

あて先 〒247-0005 栄区桂町303-19

栄区役所 生涯学習支援係「生涯学習の集い」担当

問合せ 生涯学習支援係 電話 894-8960 FAX895-6990 Eメール sa-gakusyu@city.yokohama.jp

こちらもおすすめ! 《申込不要》

パソコンアートサロン
～ゆうゆうネット・栄 作品展～

11時～16時30分 公会堂2階会議室

活動紹介パネル展

11時～16時00分 公会堂講堂前ホワイエ

3月5日～3月17日までさかえ区民活動センターでパネル展を開催

みなさんからの声

投稿コーナー 松本光世さん

栄区に住んで十数年になります。これまで自宅と駅など幾つかの点を行き来するという日々でした。ところが最近、いたち川上流や上郷森の家の周辺など今まで行ったことのない道を歩く機会がありました。初めての風景はもちろん新鮮でしたが、その後、今まで何度も通っていた区役所横のいたち川の風景まで違って見えてくるという新発見がありました。今はわざといつもと違う道を通ったり、ちょっとゆっくりまわりを見回したりして、風や空気を感じながら、いろいろな直線や曲線の道を歩くことを楽しんでいます。

情報の発信地
ぶらっと栄で皆様と
お会いしましょう

開港150周年事業

FUNE をつくりました！ H20.12.20~23
～飯島コミュニティハウス



参加して良かった！と
笑顔で語る地域のみなさん

「常陸丸」
4/28~5/26 まで
大棧橋ホールに
展示予定



情報・大募集！！次号“ぶらっと通信”
締切は3月10日です！
みなさんからの情報をお待ちしております

前号の反響

- ・子育て世代を応援したい。童謡や手芸などできますよ。(60代女性)
- ・子育て世代への応援、難病の子どもたちや家族のための滞在施設を作ったので、そういう講演を引き受けます。(60代男性)
- ・人材バンクの利用の仕方がわかりました！早速シニア世代との交流の場を設けたのでコーディネートをお願いします。(子育てグループ)



こんにちは！おしかけ隊です

「おしかけ隊」は、「ぶらっと栄」の応援隊のみなさんです
メンバーからひと言 (第3弾)



栗原さん

ぶらっと気楽に
立ち寄って!!
きっといい出会いが
ありますよ

相談員のひとり言

●「たった一步、されど一步」

1月よりこのセンターに勤務している(年は重ねていますが?)新人です。皆さんは、新年に何か決心し、何か始めていませんか?それは、今でも続けていますか?私はなかなかできないのです。「継続は力なり」と、わかっているもついつい言い訳をして・・・いつも又同じような毎日を送って、日の過ぎるのが早いと嘆く。こんな私ですが、楽しく人生を送るために皆さんからよい刺激をと期待して毎日務めています。よろしく(^o^)

さかえ区民活動センター情報紙 ぶらっと通信

発行 さかえ区民活動センター “ぶらっと栄”
〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 1-4-5 横浜銀行本郷台支店 3階
Tel 894-9900 Fax 894-9903
e-mail sa-katudou@city.yokohama.jp
<http://www.city.yokohama.jp/me/sakae/katudou/>

開館時間は
月～土:9時～20時半
日・祝:9時～18時
(休館:第4日曜日)

